



“ことぶき” お元気ですか。メッセージ！！… 7月です。コロナ2度目の夏です！！



感染予防対策に心掛けましょう。熱中症対策も忘れずに！

7月に入りました。皆さんいかがお過ごしですか。
感染者数は減少し、このところ上川管内での発生が
ゼロという報道もされています。しかし、全国的には
新型コロナウイルスのデルタ株が増えてきていること
が大変気になります。

【上川管内にお住まいの皆様へ】上川総合振興局より
感染拡大防止への取組みが示されています。

ここで気を緩めることがないよう自分に厳しく過ご
すことが大切です。

ワクチン接種も進んでいるようです。私は7月14
日の予定が、5日早まり、9日に第1回目の接種予定
です。妻はずらして接種する予定です。

富良野市も順調に接種が進んでいるようです。

二人してワクチン接種をしたあかつきには、この2
年帰省していない神奈川の娘の所に飛んでいきたいと
ころですが、ガマン！

さて、山の麓の我庭では、やっと春から夏へと移行
中です。窓辺の初ゼラニウムはまるでスイスです。

私は、早朝、カメラを首に下げて、近間を散歩しま
す。旧麓郷中学校を左手に、右手が十勝岳連峰、空気
も爽やか…今日もいい一日にしたいと……



新型コロナウイルス感染拡大防止に ご協力をお願いします！

<6/21(月)~7/11(日)>

上川管内にお住まいの皆様へ

<外出の際は>

◆感染リスクを回避できない場合、**不要不急**の外出や移動を
控えて

※通院や買物、出勤、運動など、生活や健康の維持のために必要なものを除き、外出は控えて
※必要な外出や移動でも、混雑する場所や時間を避けて

◆重症化リスクの高い方※と接する際は、**リスク回避行動の
徹底を**

※高齢者、基礎疾患のある方、一部の妊娠後期の方

◆札幌市との**不要不急の往来は控えて**

◆不要不急の**都道府県間の移動は極力控えて**

<飲食の際は>

◆感染防止対策が徹底されていない飲食店等の利用は控えて

◆「**黙食**～食事は静かに、**会話はマスク**～」の実践を

※食事は4人以下など少人数、短時間で、深酒をせず、大声を出さず、会話の際はマスク着用

◆路上、公園等における**集団での飲酒**など、**感染リスクが
高い行動は控えて**

飲食店等への要請（主なもの）

【旭川市内】

<期 間> 6月21日(月)～7月11日(日)

○営業時間 …… 5時から21時まで

○酒類の提供 …… 11時から20時まで

(利用者による酒類の店内持込みも含む)

○飲食を主として業としている店舗等において、
カラオケ設備の利用を行わない



北海道上川総合振興局
感染状況はHPで公表していますので、そちらをご覧ください
▶<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kth/kak/hasseijoukyou.htm>



富良野市新型コロナウイルス対策本部会議

「緊急事態宣言」解除に伴う 富良野市内の主な市有施設の再開について

令和3年6月19日(土)12:00 現在

北海道からの「市有施設の休館協力依頼」解除により、市内の主な市有施設は、
適切な感染防止対策を講じた上で、一部を除き、6月21日(月)^(注)から、通常通り
開館・営業再開をいたします。

施設のご利用にあたっては、感染拡大防止行動の徹底など、皆様のご理解とご協
力をお願いします。

(注) 毎週月曜日が休館の施設は、6月22日(火)から再開します。

【営業時間を短縮する施設】

ふらのワインハウス	6/30まで	営業時間 11時～20時 (L.O.19時) ※酒類提供は19時まで
ハイランドふらの	レストラン	6/30まで 営業時間 17時～20時30分 (L.O.20時)
	軽食コーナー	
浴室は、通常どおり営業いたします。(6時～21時)		



ことぶき大学の作品展を計画中！

私の趣味に写真撮影があります。気軽に持ち運べるコンパクトカメラを使っていますが、これからはスマホでの撮影が主流になるようです。性能がとてもいいそうです。高級一眼レフ以外はスマホに切り替えるいうところでしょうか…

でも、最先端へ技術が進めは進むほど逆に郷愁の念にかられるものです。ヴィンテージ、ブロカント、アンティーク…とても魅力ある響きです。

カメラといえば、私の時代は、キャノンF1（エフワン）、ニコンF（エフ）です。どちらも憧れの名機として存在していました。私の購入したカメラは、キャノンFTb・50mm F1.4、それはそれは毎日毎日大切に手入れをしつつ枕元に置いて寝ていました。…モノクロフィルム、ぎりぎり38枚まで撮影して現像、ベタをつくり、ネガを選んで引き延ばし……現像液も自分で作りました。

暗室は押入れといったところでしょうか。たいだいが手動の世界でもありました。

今は、デジカメ“おまかせモード”です。シャッターを押すだけ、それからはすべてパソコンのお世話になります。作品というより、記録写真といったほうがいいのかも知れません。

今、考えていることがあります。それは、地下室に眠っている写真機材のことです。フィルムは勿論モノクローム、カメラはペンタックス6×7、手作りパネルの3点セットで作品を制作してみようと考えています。

ということで、文化祭もない今年ですが、できる範囲でことぶき大学の作品展を開きたいと考えています。私も出品したいと思っています。



皆さんも、この夏から初秋にかけて作品づくりに挑戦しましょう。

- 1 クラブ学習の延長として書道・絵手紙・切絵、陶芸はちょっと難しいでしょうか。
- 2 俳句に挑戦してみましょう。季語はネットでも図書館でも入手可能です。

俳句講座の橘先生から資料が届きました。このコロナ禍、自分だけの大切なひと時を俳句にしてみましょう。そして、橘先生にみていただきましょう……

- 3 デジカメを利用して写真撮影も可能だと思います。印刷ができなければ、文化会館にデータを持ってきていただくと印刷可能です。額縁だって多少はあります。
- 4 そのほか、何でも自由です。自伝でもいいですね……読書感想文、詩、随筆…、論文などもいいです… パネルなど展示用のグッズは私がつくれます。

何か一つ、ことぶき大学生として作品づくりに挑戦しましょう。山部校の皆さんは、事務局の熊倉さんから課題がたくさん出されているようですので、その中に何か発表したり展示したりできるかと思います。

間接的なコミュニケーションという形での作品展をこじんまりと開催することを計画しています。是非、予定を立て計画的に取り組んでください。



2021年(令和3年)6月11日(金曜日)

剣淵の「平波大学」など新入生ゼロ

高齢者学級 学生集め苦戦

【剣淵】町の高齢者学級「平波大学」の今年の新生入生が、17日までの間に、初めてゼロになった。要するに、町民の間に、初めからゼロから、新たな高齢者学級のニーズが生まれていない。町民の間に、初めからゼロから、新たな高齢者学級のニーズが生まれていない。町民の間に、初めからゼロから、新たな高齢者学級のニーズが生まれていない。

富良野地方 卒業生受け入れや送迎

まなぶ

日本生活から講座に受講生を募集する目的で、学びの場を、町民の間に、初めからゼロから、新たな高齢者学級のニーズが生まれていない。



高齢者学級 学生集め苦戦 ! ?

6月11日の道新朝刊の富良野版の見出しです。

皆さんもきつとご覧になったことと思います。管内各市町村の高齢者学級について掲載されていました。

私にも、数日前に新聞社の方から電話があり、富良野市のことぶき大学の様子についてお伝えしました。ことぶき大学については、掲載されてはいませんでしたが、今後の高齢者学校のあり方については数年前から私も考えていたことです。

その中で、士別市では高齢者大学(九十九大学)が『学び舎「つくも」』になり、大学がなくなったようです。気軽に「集い・出会い・学ぶ」ことができる新たなコース別講座ということです。

高齢者のニーズに合わせるということが、これからの時代にふさわしい

高齢者学校(学級)のあり方ではないだろうかというコメントもありました。

入学者がゼロということですので、存在意義が問われているということです。

ここ数年来、全国の高齢者大学などの講座の中で、最も人気の高いものというと、健康・スポーツ関連が断トツに多いということです。次に、趣味、教養と続きます。

多様化の時代ですから、多様化した学びを、多様化した形で学べる場を自由に選択できるのが望ましいでしょう。

ここ富良野市で考えてみますと、学ぼうと思えばいろいろな学びの機会が設定されています。生きがい教室では、陶芸、木彫、書道、踊りなどもありますし、女性だけのふれあい講座もあり、その他にも市民講座として趣味や教養の講座もあります。

老人クラブにおいても、教養、健康増進、レクリエーション、社会奉仕、地域交流などの自主活動もありますし、各町内会独自でもいろいろあると思います。

ふまねっと運動もあり、市内の各種団体・個人指導者によるスポーツ、音楽、仲間づくり、朗読、三味線、大正琴、合唱や詩吟、俳句、各種スポーツ……いろいろと活動しようと思えばあります。

また、山部にある生涯学習センターでは、各種作品展示、体験講座、見学会、自然観察会、健康・スポーツに係わる催し物が計画されています。市役所では、47の出前講座もあります。自ら求めようと思えば、趣味の場や学びの場、コミュニケーションの場がたくさんあります。

しかし、多様化の社会ですから、趣味や学びの必要性を感じない方も勿論いるわけですが、では、ことぶき大学とはいったいどんな学びの場なのでしょうか。

ことぶき大学は、従来型の学校スタイルでの学ぶ場ということになります。学年があり、自治会があり、運動会・遠足・研修・講座・異世代間交流・クラブ学習・同好会活動、それからことぶき大学の特色ともいえる“学年別研究”があります。これは人気があるか否かということではありませんが、自ら課題を設定し自ら課題解決を図っていくことにあります。仲間と協力しながら論議をしながらを深め高め合うというものです。また、ことぶき大学にもクラブ学習はありますが、これは、



きっかけづくりということになります。月3日程度、年間40日程度の時間です。この限られた時間は、何かを本格的に始めようとするための動機づくりということです。

人生100年時代、高齢社会を迎える中で、自分らしく生きたいし、輝いていたい。

そんな魅力ある自分になりたいという内なる思いが理想の自分に近づけていくのだろうと思っています。



「合唱？踊り？苦手！」「今さら運動会？遠足？」「大学の先生の講座？経済学？社会学？」「今何で源氏物語？夏目漱石？三浦綾子？宮澤賢治？太宰治？……」「いまさら算数・数学なんて…」
ことぶき大学は趣味の活動の場ではありません……とはいっても……

新入学生が少ないことは紛れもない事実です。コロナ禍で集団での活動が制限されていますが、また、市内を回り、宣伝もしたいと思います。皆さんと協力しながらチラシ配りをしましょう。“ラジオふらの”での宣伝、ホームページに動画を入れるなど情報機器を利用しつつ変化を持たせながら、“ことぶき大学を通しての学びの場”があることを地域に広めていきたいと思っています。頑張ります…… この4月30日ジャーナリストの立花 隆さんが亡くなりました。「宇宙からの帰還」…「臨死体験」など夢中で読んだこともあります。

…「人生というのは、結局、苦戦の連続なんです。僕も、振り返ると本当に苦戦の連続だったと思います。でも苦戦を切り抜けていく内的エネルギーを持続させることが大事…それさえやっていけば立派な大人になっていけると思います…」若い人たちに残した言葉です。彼の生き方、ガンに向かい合った彼の生き方に感動しています。ことぶき大学でも今後取り上げたいと思っています……

さて、今はここまで進んでいます

もう一ヶ月以上も前になりますが、バイオリン、ヴィオラ、ピアノ、チェロ、オーボエ、クラリネット、フルート、トランペット…ファゴットを創ったときは驚きました…

それから、妻はサクソフォーンとユーフォニウムを吹く妖精さんを作りました。

6月は、中学生のとき吹奏楽部でユーフォを担当していた娘の誕生日に、その妖精さんを赤のクラフトボックスとともに大事に大事に”手作りおかず“と一緒にダンボールに詰めこんで贈りました。



今はちょっと一息つき、かご作り講座の準備をしていますが、制作中はクラシックのBGMを流しながら…その楽器が使われている曲を探しての制作活動でした。

コロナ禍で出歩くことは極端に少なくなっていますが、楽しい我が家で何か美しいものを創り出していく妻の姿に、私はいつも感動しています。

若い頃のように遅くまで起きてはいらませんが、「旅行に行こうか」とふたりで夢ごちで話しながら……もう少し、この自粛生活を極めたい…

皆さんも健康には留意して、コロナ禍だからこそできることを追求してみよう。

山部校の皆さんにも、俳句の資料を同封しました。

橘先生の俳句に対する心が伝わってきます。是非、皆さん俳句に挑戦してみましよう。俳句はより自分を高め、より心を豊かにしてくれるものだと思います。橘先生に心から感謝申し上げます。

さあ、作品を事務局まで送ってください。お待ちしております……

